

## 幼児教育学科

科目名: 社会的養護 I			担当教員 氏名: 根津 敦			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	講義	選択	保育士資格指定科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 社会福祉士としての実務経験に基づき、現場の具体的なケースを紹介している。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
社会情勢が大きく変わる中で、子どもとその家庭を取り巻く環境も変化してきている。社会養護の役割の重要性も強く求められている。養護にかかる児童福祉の基本的な視点を学び、専門職員の役割のあり方を考察する。					相談機関、命、防止、保障、施設、親子	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		2. 3. 5. 6. 8. 10	
A 知識・理解力			養護についての基本的な知識や背景を理解し、要養護の支援体系を理解する。			
C 論理的思考力			児童養護問題の整理と対策等について、整理された考え方を身につける。			
E 自己管理能力			授業に対し、適切な学究姿勢や真摯に取り組む態度を身につける。			
G 倫理観			児童福祉についての倫理観を育て、社会規範を培う。			
H コミュニケーション力			他の者と協調しながらも、意見を聞き、自分の考えを的確に伝えることができる力を身につける。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 30 %		レポート: 30 %		発表: %		実技試験: %
その他: 40 %						
特記事項: テストは理解度を、レポートは自分の考えをまとめて表現する、その他は授業態度や取り組み姿勢により採点する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習      ディスカッション、ディベート      グループワーク      プレゼンテーション      実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テスト・レポートは、別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
					学習内容	学習に必要な時間(分)
①オリエンテーション、児童福祉と児童養護について						
②子どもを取り巻く社会の現状、家庭養護と社会養護					児童がおかれている現状や社会情勢を考える	240分
③子どもの権利擁護、子育て支援とは					家庭の役割や機能について考える	240分
④児童養護の歴史、施設の沿革と福祉理念					年表で児童家庭福祉の歴史的流れを調べる	240分
⑤施設養護の体系と分類、富山県の児童施設					県内の児童福祉施設を調べる	240分
⑥施設養護の現状(入所から退所まで)					施設の生活を調べ、理解する	240分
⑦レポート および 振り返り						
⑧家庭的養護の制度と現状(里親制度、養子縁組)					家庭的養護の意義と役割を考える	240分
⑨家庭的養護の実践と課題、富山県の里親制度と里親活動					里親制度の現状と課題、活動の実践を把握する	240分
⑩職員の資質と専門性、組織とチームワーク					施設における職種とその役割を調べておく	240分
⑪児童福祉施設の運営					運営組織や経費運用について事前学習	240分
⑫児童養護の機関連携、児童相談所の役割					関係機関と施設の役割分担について考えをまとめておく	240分
⑬地域社会との連携					社会的養護の機能について考えをまとめる	240分
⑭レポート および 振り返り						
⑮まとめ、これからの児童養護の方向						
使用テキスト: 「新・社会的養護の原理」櫻井奈津子編著 青踏社 978-4-902636-19-2 C3037				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 児童養護についての基本的考え方と社会養護に重要性、児童の人権保障の大切さを、社会事象や事例を通して認識する						